経済産業省資源エネルギー庁　長官
　村瀬　佳史　　様

北海道における洋上風力発電事業完遂のための事業環境整備に関する要望

令和７年１０月

北　海　道
函館渡島檜山ゼロカーボン北海道推進協議会

【要望事項】

１．入札要件の緩和は、電力料金（再エネ賦課金）の上昇にもつながるため、国民負担を抑えつつ、事業性を向上させる制度設計とすること。

２．事業実施期間の観点から、事業完遂の確実性を向上させるため、占用期間は極力延長すること。

３．ダンピング抑止の観点から、事業完遂の確実性を向上させるため、価格の評価配点より、事業実施能力の評価配点に比重を置くとともに、事業実施能力の評価基準は、迅速性よりも事業完遂性を重視すること。

４．物流コスト低減と地域貢献の両立の観点から、地元港湾等のインフラやサプライチェーンの活用を促進するため、地域波及効果の評価配点の比重を拡大すること。また、需要地への海外風車メーカーの生産拠点誘致（国内生産化）の取組に対し、支援すること。

５．物流コスト低減の観点から、将来のＥＥＺでの洋上風力の海域選定等にあたっては、風況などの立地ポテンシャルの高い海域に選択と集中を行い、事業性を向上させること。

６．プロジェクト実施の予見性を高め、洋上風力に対する投資離れを防止するため、第１ラウンドの再公募及び第４ラウンドの松前沖・檜山沖の公募開始のスケジュールを早期に明確化すること。